

私立大学情報教育協会  
平成30年度第1回(社会福祉・社会・教育・統計・体育学)分野連携グループ合同会議議事概要  
社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会  
(社会学・教育学・統計学・体育学)グループ運営委員会

I. 日時 : 平成30年9月10日(月) 13:00-15:00

II. 場所 : 私学会館(アルカディア市ヶ谷)6階 霧島  
東京都千代田区九段北4丁目2-25 (TEL:03-3261-9921)

III. 出席者 : 社会福祉学FD/ICT活用研究委員会 山路委員長、戸塚委員、山田委員、天野アドバイザー  
CCC社会学グループ運営委員会 干川委員  
CCC教育学グループ運営委員会 舟生委員、三尾委員、竹熊委員(ネット出席)  
CCC統計学グループ運営委員会 渡辺委員、今泉委員  
CCC体育学グループ運営委員会 大橋委員、内山委員  
事務局 井端事務局長、森下、中村

IV. 昨年度の報告と今年度の検討

1. 事務局より昨年度の事業について事業報告書をもとに以下のように報告された。

平成29年度は、30分野を6グループに再編し教育改善の研究を行った。対話集会では、学力の3要素を高めるためにICTを活用した教育・学修方法の工夫・改善、授業科目の相互改善を促進するための仕組みとICTの活用、ICTによる外部評価モデルの必要性と仕組みを中心に意見交換した。

その結果、①個別の授業科目でICTを活用したアクティブ・ラーニングは進んでいることを確認したが、知識の活用や創造を目指す分野連携によるICTを活用した授業までは議論が進まなかった。②ICTを用いて授業内容を可視化し、教員相互で理解し合う必要性が確認され、教学マネジメントの課題が明らかになった。③学修成果を質保証する手段としての外部評価モデルについては、文系・理系・医療系では総論賛成の意見が多かった一方、被服・美術デザイン分野では創造性の評価に適さないとの意見も出された。

2. 平成30年度の対話集会について

昨年度の振り返りを踏まえ本年度は、①アクティブ・ラーニング(AL)の質向上に向けたICTの活用を中心に、思考力・判断力を高める課題探求型教育の研究 ②ネット上で学内および地域社会・企業などによる外部からの意見を組み入れたオープンな教育改善の仕組みについて実現の可能性の探求 ③学修成果の質保証に向けたビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策について認識の共有 ④多面的に考え、本質を見抜く能力を目指す授業モデルを研究するため、ICTを活用した分野横断的な授業モデルの研究結果を共有する中で、授業のイノベーションを実現していく上での課題、戦略について意見交換 としていた。

3. 対話集会の進め方

① 「話題提供」(1時間30分)と「意見交流」(2時間)の3時間30分を計画している。

② 「話題提供」は以下のような紹介が考えられる。件数は4件以内を計画している。

なお、質疑は話題提供後にまとめて15分程度設けるが、不足する場合は「意見交流」の最初に15分程度設ける。

- \* 知識・技能の活用力・応用力を促進するICT活用授業
- \* 問題発見・解決力を高めるICT活用授業
- \* ICTを活用した事前・事後学修、反転授業、地域連携授業
- \* モバイル・SNSを活用した双方向授業
- \* eシラバス、eポートフォリオなどを活用した授業の可視化、学修成果の可視化

\* 授業改善をオープンに議論するポータルサイトの活用など

③ 「意見交流」のテーマは大枠として、以下の中から3件程度を考えてはどうか。

- ※ 知識・技能の活用・応用を促進する ICT 活用授業の取り組みと課題
- ※ 問題発見・解決力を高める課題探求型 ICT 活用授業の取り組みと課題
- ※ 双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業における ICT 活用の取組みと課題
- ※ ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題
- ※ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策
- ※ 知識の創造を目指す分野横断型フォーラム授業の必要性と導入の課題

#### 4. 今後の合同会議の検討スケジュール

##### (1) 第1回合同会議 (9月)

- ① 本年度の対話集会の進め方について(事務局より説明)
- ② 話題提供候補の検討  
(ICT を活用した分野別の実践事例又は教育改善提案の候補を選定)
- ③ 意見交流のテーマ検討
- ④ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
- ⑤ 対話集会の開催日時・場所の検討
- ⑥ 参加呼びかけの強化

##### (2) 第2回合同会議 (10月予定)

- ① 開催要項の確定
  - ・ 話題提供者の確定
  - ・ 意見交流のテーマ確定
  - ・ 開催日時・場所の決定
  - ・ 事前アンケートの内容決定
- ② ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策の検討
  - ・ 各グループでの検討状況の共有
  - ・ 各分野における課題・対応策の整理
- ③ 運営シナリオの検討と役割分担  
※委員主体の運営シナリオを全員で作成

##### (3) 対話集会 (12月予定)

- ① アンケート結果を踏まえた担当者との打ち合わせによる進め方の確認
  - ・ 時間配分と運営シナリオにおける意見交流の着地目標を再確認
- ② 対話集会の参加についてアンケート回収

以上の説明の後、各分野ごとに「話題提供候補」ほか対話集会の進め方について検討を行った。

#### 5. 話題提供候補の検討

各分野から以下の説明があった。

##### (1) 社会福祉学分野

学生が地域社会に入り、地域の課題に取り組んでいる実践的な学修について話題提供することを検討している。発表は教員だけでなく学生による発表も考えており、引き続き社会福祉学委員による検討を行うことが報告された。

##### (2) 社会学委員会

話題提供案の報告をするに至らず、具体的な内容については欠席委員を含め検討を行うこととなった。

(3) 教育学分野

ICTを使った授業改善支援の一環として早稲田大学が長年実施している e-Teaching Award 制度と、学生の問題発見力や解決力向上に重要な TA など大学の支援体制の紹介を検討していることが報告された。

(4) 統計学分野

地域ともに地域の課題に対して、データを集め分析し課題解決を提案する取り組みの紹介を行い、授業改善における問題発見力や解決力向上についての話題提供を検討していることが報告された。

(5) 体育学分野

仮題「自己・他者の観察を材料としたアクティブ・ラーニングの実践例」

アクティブ・ラーニングにより知識、技能だけでなく、学生同士が ICT 技術を活用し情報共しながら問題発見力や解決力を高める授業改善について紹介を検討していることが報告された。

分野ごとに話題提供内容についてさらに検討を進めていただき、話題提供シート書式にて提出することを確認した。

VI. 対話集会の開催日時、場所についてほか

5分野の委員に諮った結果、

- ・対話集会は12月15日(土)14時~17時30分(委員事前打合せは13時)  
会場については早稲田大学にて検討いただくことになった。
- ・次回(第2回合同会議)は10月20日(日)13:30~15:30 私学会館を予定することにしたが、  
会場都合によりTKP市ヶ谷カンファレンスセンターにて開催することした。